

大人のための情報モラル通信

オンラインカジノに関する法改正について

大人のための情報モラル通信は、子どもたちの安心・安全なインターネット利用に向けて、学校の先生方と保護者のみなさま、地域のみなさまに「大人としてできること」を考えていただく為の資料です。

2025年9月からギャンブル依存症対策等に関する改正法が施行され、子どもたちが目にするようなSNS等におけるオンラインカジノへの誘因・宣伝が禁止されます。

違法性の認識の薄い人が多いようですが、海外で合法的に運営されているオンラインカジノであっても、**日本国内から接続してお金を賭けることは犯罪**です。



無料体験だけのつもりが...



※ネットは記録が残ります
(お金を入金したらバレます)

警察のお世話に...



警察庁の委託調査によると、日本国内におけるオンラインカジノの利用経験者は約337万人と推計されており、実際に摘発されて処分を受けた人もいます。

また、オンラインカジノサイトにはお金を賭けずに遊べる無料体験等もありますが、その体験中に**有料版に誘導**されて、お金を賭けたくるように仕組みられています。

★ネットには様々な「依存の入口」がひそんでいる★

オンラインカジノは依存性が高く、専門家や公的機関からもその危険性が強く指摘されています。ただ、違法性はなくとも、ネットには依存に注意すべきものがたくさんあります。

2019年にWHOに病気として認定された**ゲーム依存**、周囲の反応が等が気になり精神的な疲労を招く**SNS依存**、受け身のままで延々と時間を奪われる**動画視聴依存**等が代表例です。

ゲーム・SNS・動画サイトというサービス自体は、充実した生活を送るために役立つものですが、**過度な利用**は日常生活に支障をきたし、子どもたちの**将来に悪影響**を与えます。



自分のスマホ等で24時間・365日利用できるオンラインカジノは「**ギャンブル依存**」になりやすいだけでなく、**明確な違法行為**です。法改正により「誘因・宣伝」は禁止されますが、子どもが自らサイトに近づかないよう言い聞かせることも重要です。